

松江工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	OSSリテラシ2	
科目基礎情報							
科目番号		0009		科目区分	専門 / 選択		
授業形態		授業		単位の種別と単位数	: 1		
開設学科		情報工学科		対象学年	3		
開設期		後期		週時間数	2		
教科書/教材		教員自作のテキスト					
担当教員		原 元司					
到達目標							
(1) 設計方式（インテグラル設計，モジュラー設計）の違いを理解している (2) プログラミング言語における「モジュール化」の基礎を理解している (3) オブジェクト指向型言語であるRuby言語の基礎を理解している							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		計方式（インテグラル設計，モジュラー設計）の違いをよく理解している		計方式（インテグラル設計，モジュラー設計）の違いを理解している		計方式（インテグラル設計，モジュラー設計）の違いを理解していない	
評価項目2		プログラミング言語におけるモジュール化の基礎をよく理解している		プログラミング言語にけるモジュール化の基礎を理解している		プログラミング言語におけるモジュール化の基礎を理解していない	
評価項目3		オブジェクト指向型言語であるRuby言語の基礎をよく理解している		オブジェクト指向型言語であるRuby言語の基礎を理解している		オブジェクト指向型言語であるRuby言語の基礎を理解していない	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 2							
教育方法等							
概要		本科目では，まずインテグラル設計・モジュラー設計の設計方式の違いを学び，手続き型言語のモジュール化について解説を行う．また，モジュール化で重要となる関数の独立性やデータのメモリ配置についても解説を行う．後半ではオープンソースのプログラミング言語Rubyプログラミングの基礎を学び，オブジェクト指向型言語における「オブジェクトのカプセル化」について解説を行う．					
授業の進め方・方法		到達目標（1）～（3）の達成度について，以下の割合で評価し，50%以上を合格とする． ・実技試験を含めた定期試験 7 0 %（中間 3 5 %，期末 3 5 %） ・小テスト，レポート課題，授業態度（出席，ノート） 3 0 % ＜留意事項＞ 未提出のレポートが1つでもある場合，実習中に教員の指示に従わなかった場合は科目不合格とする．ただし，小テスト，レポート課題，授業態度の評価が良好（3 0 %中 2 0 %以上の評価）かつ総合評価が3 5 %（3 6 点）以上の場合に限り，再試験，追認試験を認めることがある． なお，再評価試験および追認試験については行わない．					
注意点		・ 予習：テキストが配布されている場合は前もって原理等を読んで実験の内容について理解しておくこと． ・ 授業中：授業中に不明な点があれば，疑問を後まで残さず，教員に質問するよう心がける． ・ 復習：レポートを指定期日までに提出する．					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス，手続き型言語のモジュール化 1 ガイダンス，モジュラー設計とインテグラル設計，モジュール化について解説する．				
		2週	手続き型言語のモジュール化2 手続き型言語におけるモジュール化について解説する				
		3週	手続き型言語のモジュール化3 手続き型言語におけるモジュール化について解説する				
		4週	手続き型言語のモジュール化 4 手続き型言語におけるモジュール化について解説し，演習を行う				
		5週	Ruby言語環境の構築とRuby基礎（1） Ruby言語環境の導入とRuby基礎その 1				
		6週	Ruby基礎（2） Ruby基礎その 3				
		7週	Ruby基礎（3） Ruby基礎その 3				
		8週	中間試験 1 ～ 7 回目までの内容について試験を行う				
	4thQ	9週	Ruby基礎（4） Ruby基礎その 3				
		10週	Ruby基礎（5） Ruby基礎その 3				
		11週	Ruby基礎（6） Ruby基礎その 3				
		12週	Ruby基礎（7） Ruby基礎その 9				
		13週	Ruby基礎（8） Ruby基礎その 9				
		14週	Ruby基礎（9） Rubyに関する応用課題とその演習を実施する				
		15週	期末試験 8 ～ 1 4 回目までについて期末試験を行う				

		16週	試験の解説とまとめ 期末試験の解説とまとめを行う				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
専門的能力	分野別の専門工学	情報系分野	プログラミング	プロシージャ(または、関数、サブルーチンなど)の概念を理解し、これらを含むプログラムを記述できる。	3		
				与えられた問題に対して、それを解決するためのソースプログラムを記述できる。	3		
				主要な言語処理プロセッサの種類と特徴を説明できる。	2		
評価割合							
	試験	課題	相互評価	小テスト, レポート課題, 授業態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	50	0	30	0	0	150
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	70	50	0	30	0	0	150
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0